



オーライ! ニッポンニュース

全国子ども農山漁村交流プロジェクト推進シンポジウムには、全国から多くの方々のご参集をいただき、厚く御礼申し上げます。平成 22 年 7 月 22 日



小林美佐子 越後田舎体験推進協議会事務局長

第 8 回 運営委員会開催

平成 22 年 4 月 21 日 第 8 回都市と農山漁村の共生・対流推進会議(以下「オーライ!ニッポン会議」)の運営委員会及び関連団体連絡会を開催しました。

日時:平成 22 年 4 月 21 日(水)15 時～
場所:東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館4階 408 号室

運営委員会は、安田喜憲副代表と来賓の農林水産省農村振興局都市農村交流課の遠藤課長補佐のあいさつののちに、金子家治運営委員会会長が議事を進行して、3つの議題を審議し了承を得ました。

議題1. 平成 22 年度事業の実施について

- ・「ようこそ!農村へ」キャンペーン、GT商品コンテスト、WEBサイト情報発信、子ども農山漁村交流プロジェクトシンポジウム、第 8 回オーライ!ニッポン大賞、第 8 回全国大会の開催の実施の事業を行なう。
- ・これまで農水省の補助事業は、(財)都市農山漁村交流活性化機構が実施してきたが、平成 22 年度からは、公募によりオーライ!ニッポン会議が事務局となって実施する。
- ・平成 22 年度 4 月 15 日に公募選定結果の通知があり当オーライ!ニッポン会議が事業主体として決定した。さらに上記内容の業務について、事業計画が承認され、5 月 18 日に交付決定の通知がありました。

議題2. 組織体制について

- ・オーライ!ニッポン会議が直接事業を実施することに伴い、規約等を整備する。
- ・オーライ!ニッポン会議へ、(財)都市農山漁村交流活性化機構から職員を出向。
- ・補助金が入るまでの間、事業費を(財)都市農山漁村交流活性化機構が立替える。

議題3. その他

- ・「ようこそ!農村へ」キャンペーン等の協力の要請
- ・関連団体各位の共生・対流事業について
- ・その他意見交換を行いました。

運営委員会に先立ち、同日 13 時半から、都市と農山漁村の共生・対流推進会議(オーライ!ニッポン会議)の事務局である関連団体連絡会を開催し、運営委員会に諮る議案の議題1. 平成22年度事業実施について、2. 組織体制について提案し、事務局原案通り承認されました。

全国子ども農山漁村交流プロジェクト推進シンポジウム開催

平成 22 年 5 月 20 日 全国子ども農山漁村交流プロジェクト推進シンポジウムを開催しました。

■開催場所:国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール(東京・代々木)

■主催:総務省、文部科学省、農林水産省
5 月 20 日(木)13:30より、オリンピック記念青少年総合センター小ホールにて、総務省、文部科学省、農林水産省主催、全国知事会、全国市長会、全国町村会、オーライ!ニッポン会議後援による「全国子ども農山漁村交流プロジェクト推進シンポジウム」が開催されました。あいにくのお天気でしたが、全国各地から約 300 人の方にご来場され、舟山康江農林水産大臣政務官、椎川忍総務省地域力創造審議官、金森越哉文部科学省初等中等教育局長ご出席の中、盛大に開催され

ました。学校、受け入れ協議会、行政、それぞれの立場からの事例報告、舟山政務官、椎川審議官、金森局長を交えてのパネルディスカッション、4名の有識者によるリレー講演が行われ、様々な視点から子どもの農山漁村体験、農林漁業体験の大切さ、重要性が話されました。

【プログラム】

- 13:30 開会・挨拶
舟山康江農林水産大臣政務官
- 13:20 活動報告
①畠山正樹 前全国小学校学校行事研究会会長
立川市立けやき台小学校校長
②小林美佐子 越後田舎体験推進協議会事務局長
(財)雪だるま財団事務局長
③谷脇幹雄 和歌山県農林水産部水産局長
(前和歌山県企画部地域交流課長)
- 14:10 パネルディスカッション
コーディネーター
宮川八岐 國學院大學人間開発学部 教授
パネリスト
舟山康江農林水産大臣政務官
椎川忍 総務省地域力創造審議官
金森越哉 文部科学省初等中等教育局長
畠山正樹 前全国小学校学校行事研究会
会長・立川市立けやき台小学校校長
小林美佐子
越後田舎体験推進協議会事務局長
(財)雪だるま財団事務局長
谷脇幹雄 和歌山県農林水産部水産局長
(前和歌山県企画部地域交流課長)
- 15:00 リレー講演
①安田喜憲 国際日本文化研究センター教授
②杉田洋 国立教育政策研究所教育課程調査官
③鈴木源太郎 農林水産政策研究所主任研究官
④宮口侗迪 早稲田大学教育・総合科学学術院教授



開会の様子



舟山農林水産大臣政務官



畠山正樹 立川市立けやき台小学校校長



谷脇幹雄 和歌山県農林水産部水産局長



パネルディスカッション



安田喜憲 国際日本文化研究センター教授



杉田 洋 国立教育政策研究所 教育課程調査



鈴木源太郎 農林水産政策研究所 主任研究官



宮口侗迪 早稲田大学教育・総合科学学術院教授

企画委員会とワーキング・グループ開催

グリーン・ツーリズム商品コンテストを核にした「ようこそ!農村へ」キャンペーンを平成 22 年度も実施します。6

月14日に開催した企画委員会(丁野朗 座長、井上弘司座長代理他8名の委員)において、平成22年度の事業について、3つのワーキング・グループを設置し、推進していくことが承されました。

★企画委員会とワーキング・グループの位置づけ

共生・対流の効果的な推進方策を具体的に検討するために設置された企画委員会では、グリーン・ツーリズムの普及啓発のため、平成21年度に引き続き、グリーン・ツーリズム商品コンテストを核にしたプロモーション事業である「ようこそ！農村へ」キャンペーンの推進方策を検討し、その検討結果に基づき、キャンペーンを実行する。

また、多面的な角度から共生・対流の効果的な推進方策を検討するために、今後の日本を担っていく若者の農山漁村での活動も活発化している状況を踏まえて、若者の農山漁村における共生・対流に対する潜在的なニーズや実際の行動にまで結びつけていく上で、解決すべき課題等を検討する必要があることから、企画委員会の下にワーキング・グループを設置し、若者の農山漁村での活動の関わりがある関係者や実践者等による検討を行なう。

■企画委員会

共生・対流の効果的な推進方策を検討するため、運営委員会の下に設置された企画委員会では、22年度の優先すべき検討課題、テーマ及び具体的な検討作業を行なうワーキング・グループの設置を検討する。

① グリーン・ツーリズム商品普及ワーキング・グループ(WG)企画委員会で設置されたワーキング・グループとしてグリーン・ツーリズム商品コンテストについて検討及び優秀賞の選定を行なう。

② 共生・対流情報戦略ワーキング・グループ(WG)クロスメディア方式による効果的な広報を行なうための戦略の検討と実践のために設置する。オーライ!ニッポン大賞や「ようこそ！農村へ」キャンペーンのプロモーション戦略等も含めた幅広いキャンペーン活動の推進方策について検討を行う。

③ 若者の支援ワーキング・グループ(WG)

農山漁村で活躍する若者の活動に詳しい識者や若者を受入れている都市農山漁村交流の実践者、実際に農山漁村や過疎地を訪問・滞在した若者等を部会委員とし、ヒアリングや意見交換形式により事例情報の収集や推進方策を検討する。

○企画委員名簿(WG所属)は以下のとおり

板倉康 (社)全国旅行業協会経営調査部次長 (GT普及WG)、**井上弘司** CRC 地域再生診療所 所長 ※(GT普及WG)、**奥村聡子** 東日本旅客鉄道(株)鉄道事業本部営業部観光開発課長、**甲斐良治** (社)農山漁村文化協会編集局 季刊地域・シニア地域の再生グループチーフ(若者WG)、**加藤誠** (株)ジェイティービー旅行事業本部 地域交流ビジネス推進部長 (GT普及WG)、**鈴木賀津彦** 市民メディアプロデューサー、東京・中日新聞編集局部次長(情報、若者WG)、**丁野朗** (社)日本観光協会常務理事 総合研究所 所長 ★(GT普及WG)、**中尾謙吉** (社)日本旅行業協会 国内・訪日旅行業務部担当副部長 (GT普及WG)、**中島康夫** (株)電通 クリエイティブ開発センターCI開発部(GT普及、情報WG)、**中村直美** 交通新聞社 第1出版事業部長、旅の手帖編集部長(情報WG)、**福井善朗** 近畿日本ツーリスト(株)旅行事業創発本部地域振興担当部長(GT普及WG)、**安卓也** (社)全国農協観光協会 地域振興推進部長(GT普及、若者WG)★印は座長、※印は副座長 以上

GT商品コンテスト

2010募集開始

農山漁村を舞台とした魅力ある旅行企画を募集します。皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。本コンテストの対象となるグリーン・ツーリズム商品とは、日本国内の農山漁村地域を訪れ、豊かな自然や美しい景観、郷土料理や特産品、

農林漁業体験、地元の人たちとの交流など、地域ならではの魅力に触れることのできる“旅”のことです。農山漁村の素晴らしさを体感することで、グリーン・ツーリズムに目覚め、新たな楽しみを発見する。そのようなきっかけとなるような「旅」のアイデアを募集します。

1. 趣旨

都市と農山漁村の共生・対流を国民運動として推進するにあたっては、さまざまな場面で都市生活者の農山漁村への訪問機会を創出し、グリーン・ツーリズムの認知度向上や普及啓発を図ることが求められていることから、「ようこそ！農村へ」キャンペーンの一環として、オーライ!ニッポン大賞受賞地域をはじめとした農山漁村地域をフィールドとした旅行商品の企画提案を公募し、それらの中から優れた事例を選定・表彰するグリーン・ツーリズム商品コンテストを実施します。

企画提案の公募段階から選定結果の公表、モニターツアーの実施ならびにその成果の検証まで含め、商品化に至るまでの一連のプロセスを幅広く普及・PRしていくことで旅行事業者、業界におけるグリーン・ツーリズム商品の開発・販売に向けたインセンティブを高めるとともに、共生・対流の普及・定着を図るものです。

2. 応募要件

(1) 都市との交流に取り組む、あるいはこれから取り組もうとしている農山漁村地域の団体・関係者(地域協議会、JA、NPO、市町村及び農業者等)と旅行業の資格を有する事業者(旅行会社、交通事業者、観光協会等)との共同提案であること。

(2) 1泊2日以内を基本とする短期の企画(商品)であること。

(3) 平成23年2月末までにモニターツアーを実施すること。

3. 応募受付期間

平成22年8月31日(火)まで(当日消印有効)

4. 応募方法

応募用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送していただくか、メールに添付して、下記アドレスまでお送りください。

電子メール yokoso@ohrai.jp

5. 選定方法及び結果の通知

(1) 選定委員会の開催

9月上旬頃に開催予定のGT商品普及ワーキング・グループにおいて、以下の審査基準にもとづき、総合的に判断し選定されます。

(2) 審査基準

- ・旅行のテーマや目的、セールスポイント、販売対象など、企画のコンセプトが明確であるか。
- ・地域ならではの素材や観光資源に着目した、独自性・ストーリー性のある企画商品か。
- ・新鮮で安全な地場農産物を使った郷土料理の提供、地域住民とのふれあいや交流等を通じて農山漁村への関心を高めるとともに、地域振興に貢献することが期待できるか。
- ・農林漁業者を含む多様な主体の参画と総意のもとに企画・造成された商品であり、地域ぐるみの受入体制が整っているか。
- ・ターゲットに応じた効果的な情報発信や適確な販売手法などにより、モニターツアーを催行することが確実に見込めるか。
- ・全ての関係者を満足させる適正な価格設定等により、将来にわたり、無理なく商品化に取り組むことができるか。

(3) 選定件数

優秀賞 5点程度

(4) 結果の通知

選定結果については9月中旬頃を目途に各代表提案者に個々に文書で通知するほか、オーライ!ニッポンWEBサイトでも公表します。

(5) 表彰式の開催

平成23年3月頃に東京都内で開催予定の第8回オーライ!ニッポン全国大会において表彰するとともに、モニターツアーの実施結果等についてご報告いただきます。

6. 選定企画(商品)に対する特典

選定された企画(商品)については、キャンペーンの一環として、幅広い観点から支援してまいります。

(1) モニターツアーの実施にかかる経費の一部を助成します! マイクロバスの借り上げ費用、体験料、広告費、調査費などモニターツアーを実施するために必要となる経費の一部(上限50万円)を助成します。

※参加者募集用のチラシ、行程表等には、キャンペーンネーム「ようこそ!農村へ」のロゴの記載をお願いします。

※ツアー参加者(モニター)に対する簡単なアンケート調査を実施し、その結果のとりまとめをお願いします。

(2) 当該商品の概要等についてPRの場を設定します! 「第8回オーライ!ニッポン全国大会」でのPRの他、モニターツアーの実施結果や参加者の声などについて、オーライ!ニッポンWEBサイト等に掲載するなど、当該商品の魅力をアピールしていただくお手伝いをします。

(3) 消費者や旅行会社等の関係者に向けたプロモーション活動をサポートします!

応募いただいた企画については、事務局でその概要をとりまとめ、オーライ!ニッポンWEBサイトに掲載するほか、マスメディアの活用、関係企業・団体等との連携など、多様なツールを活用した効果的な情報発信を行うことで、プロモーション活動を支援します。

提出およびお問い合わせ先

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5階

(財)都市農山漁村交流活性化機構内 オーライ!ニッポン会議事務局「ようこそ!農村へ」キャンペーン係 担当: 茅原、清水

TEL 03-4335-1985 FAX 03-5256-5211 電子メール yokoso@ohrai.jp

消費者の部屋

平成22年6月28日(月曜日)~7月2日(金曜日)の間、農林水産省の消費者の部屋で、「みんなで行こう!農山漁村~都市と農山漁村の共生・対流~」の展示が実施されました。

オーライ!ニッポン会議も協力して、「ようこそ!農村へ」キャンペーン、グリーン・ツーリズム商品コンテスト2009 優秀賞に輝いた5つの商品の概要をポスターによる紹介、グリーン・ツーリズム商品コンテストに応募いただいた関係者やオーライ!ニッポン大賞受賞地区、子ども農山漁村交流プロジェクトの受入れ協議会のパンフレットを展示・配付を行ないました。夏休みに向けて自然体験や農業、林業、漁業体験などのパンフレットが人気を呼んでいました。



〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5階 (財)都市農山漁村交流活性化機構内 オーライ!ニッポン会議 TEL03-4335-1985